

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2025 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2556
研究開発課題名	スギ材の機能性抽出成分＝フェルギノールの段階的商品化
研究代表者	岩手大学 農学部 小藤田久義
研究開発成果の概要	スギ材の抽出成分であるフェルギノールは、抗菌・抗酸化作用など様々な有用機能を持つが、汎用化学品としては普及していない。本研究では、スギ材の乾燥排液を原料としてフェルギノールを量産・商品化するための基礎的な技術および事業化の検討を行った。結果、起業に向けて安定供給基礎技術・安全性の確立および商品開発・事業化に関する課題が確認できた。

総合評価

実際に廃液の有効活用が確認できたことや、精製原理や物質としての機能性自体も評価により確認できていることは高く評価できる。一方で、想定応用領域にはすでに多数の製品が存在しているため、事業化にあたっては既存製品と比べた優位性の明確化が必要である。今後、顧客候補と議論を重ね、優位点の具体化に期待する。

以上